

2018年(第29回)福岡アジア文化賞 受賞者一覧



大賞

賈樟柯(ジャ・ジャンクー)

中国 / 映画 (1970年生まれ)

賈樟柯氏は21世紀の中国を代表する映画監督である。故郷の山西省をはじめとする地方の都市を舞台に据え、急激な経済発展がもたらした社会的歪みの中で苦悩しながらもしたたかに生きる市井の人々、とりわけ若者たちが抱える閉塞感や希望を等身大に描いた数々の作品で、中国のみならず世界的に高く評価されている。



学術研究賞

末廣 昭

日本 / 経済学、地域研究(タイ) (1951年生まれ)

末廣昭氏は、日本におけるアジア経済研究の第一人者である。末廣氏の学問的業績は、タイ経済研究を基盤としてアジア全体の工業化や経済実態を解明し、日本のアジア研究の発展に主導的な役割を果たした。またアジア研究の組織化や若手研究者の育成でも大きな貢献をなした。



芸術・文化賞

ティージャン・バーイー

インド / 音楽 (1956年生まれ)

ティージャン・バーイー氏は古代インドの叙事詩『マハーバーラタ』に基づく歌語りのパンダワーニーを現代に伝える第一人者である。先住民であり女性であることで二重にインド社会から差別されてきた中で類まれな天賦の才と強い意志をもって歌い続け、女性たちや虐げられた人々に勇気と励ましを与えてきた。

第29回福岡アジア文化賞 大賞

ジャ・ジャンクー

賈樟柯

中国

映画監督

1970年5月24日生 (48歳)

経歴

- 1970 中国、山西省汾陽(フェンヤン)生まれ
- 1997 北京電影学院卒業
卒業制作として『一瞬の夢』を監督
- 1998 『一瞬の夢』がベルリン国際映画祭フォーラム部門でワールドプレミア上映。ヴォルフガング・シュタウテ賞(最優秀新人監督賞)、NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)受賞
- 2000 『プラットホーム』がヴェネチア国際映画祭コンペティション部門に選出。NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)受賞
- 2006 古都・奉節(フォンジェ)を舞台にした『長江哀歌』、三峡地区で撮影したドキュメンタリー映画『東』がヴェネチア国際映画祭に選出(『長江哀歌』はコンペティション部門、『東』はオリゾンティ部門)、『長江哀歌』はグランプリ(金獅子賞)受賞
- 2007 世界経済フォーラムヤング・グローバル・リーダーズ選出
カンヌ国際映画祭シネフォンダシオン部門、短編映画部門審査委員長
- 2010 若い映画監督に資金を提供する「Wing Project」開始
- 2011 ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門審査委員長
- 2013 『罪の手ざわり』がカンヌ国際映画祭脚本賞受賞
米国フォーリン・ポリシー誌「世界の頭脳100」選出
- 2014 カンヌ国際映画祭コンペティション部門審査委員
- 2016 サンセバスチャン映画祭審査委員
米国映画芸術科学アカデミー会員選出
オンライン短編映画プラットフォーム「柯首映[Jia Screen]」立ち上げ
- 2017 山西省で平遥(ピンヤオ)クラウチング・タイガー・ヒドゥン・ドラゴン国際映画祭創設

主な受賞歴

- 1996 香港インディペンデント短編映画ビデオ賞金賞(『小山の帰郷』) ※中編ビデオ作品
- 1998 ベルリン国際映画祭ヴォルフガング・シュタウテ賞(最優秀新人監督賞)、NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)、ナント三大陸映画祭グランプリ(金の気球賞)、ベルギー王立映画アカデミーラージュ・ドール賞、プサン国際映画祭ニュー・カレント賞、バンクーバー国際映画祭ドラゴン&タイガー賞(『一瞬の夢』)
- 2000 ヴェネチア国際映画祭 NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)、ナント三大陸映画祭グランプリ(金の気球賞)・ナント市賞(最優秀監督賞)(『プラットホーム』)
- 2001 フリブルク映画祭国際批評家連盟賞、国際シネクラブ連盟ドン・キホーテ賞、シンガポール映画祭ヤングシネマ賞、ブエノスアイレス国際映画祭グランプリ(『プラットホーム』)
- 2002 マルセイユ国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ(『In Public』)
- 2003 シンガポール映画祭国際批評家連盟賞特別賞(『青の稲妻』)
- 2006 ヴェネチア国際映画祭グランプリ(金獅子賞)(『長江哀歌』)
- 2007 アジアン・フィルム・アワード最優秀監督賞(『長江哀歌』)、台湾ドキュメンタリー映画祭最優秀アジア・ドキュメンタリー賞(『東』)、ヴェネチア国際映画祭最優秀ドキュメンタリー賞(『無用』)

- 2008 キネマ旬報ベスト・テン外国映画第1位・監督賞、毎日映画コンクール外国映画第1位、ロサンゼルス映画批評家協会賞外国語作品賞、朝日ベストテン映画祭洋画第1位(『長江哀歌』)、南からの映画祭(ノルウェー)国際映画批評家連盟賞(『四川のうた』)
- 2009 フランス芸術文化勲章オフィシエ章
- 2010 ロカルノ国際映画祭名誉金豹賞、プリンス・クラウス基金プリンス・クラウス・アワード
- 2013 カンヌ国際映画祭脚本賞、トロント映画批評家協会賞最優秀外国語映画賞、フランス映画批評家協会賞最優秀外国映画賞、アブダビ映画祭最優秀作品賞(『罪の手ざわり』)
- 2015 サンセバスチャン国際映画祭観客賞(ヨーロッパ映画)、台湾金馬奨オリジナル脚本賞・観客賞(『山河ノスタルジア』)、カンヌ国際映画祭フランス映画協会より黄金の馬車賞
- 2016 アジアン・フィルム・アワード最優秀脚本賞、サンディエゴ映画批評家協会賞外国語映画賞(『山河ノスタルジア』)

主な作品

- | | |
|---|----------------------|
| 『一瞬の夢』(1997) | 『プラットホーム』(2000) |
| 『In Public』(2001)*短編ドキュメンタリー、オムニバス作品『三人三色』の一編 | |
| 『青の稲妻』(2002) | 『世界』(2004) |
| 『長江哀歌』(2006) | 『東』(2006)*長編ドキュメンタリー |
| 『無用』(2007)*長編ドキュメンタリー | 『四川のうた』(2008) |
| 『罪の手ざわり』(2013) | 『山河ノスタルジア』(2015) |
| 『アッシュ・イズ・プアレスト・ホワイト(英題)』(2018) 江湖儿女 | |

第29回福岡アジア文化賞 学術研究賞

すえひろ あきら

未廣 昭

日本

経済学者、地域研究者 (タイ)

(学習院大学国際社会科学部教授)

1951年8月30日生 (66歳)

経歴

- 1951 鳥取県米子市生まれ
- 1974 東京大学経済学部卒業(経済学学士)
- 1976 東京大学大学院経済学研究科応用経済学修士課程修了(経済学修士)
- 1976-87 特殊法人アジア経済研究所調査研究部研究員
- 1981-83 タイ、チュラロンコーン大学客員研究員
- 1987-92 大阪市立大学経済研究所助教授
- 1991 東京大学大学院経済学研究科博士号取得 (博士・経済学)
- 1992-95 東京大学社会科学研究所助教授
- 1992-2005 アジア政経学会常任理事 (2003-05年は理事長)
- 1993-98 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所開発スクール(アイデアス)客員教授
- 1994-95 ドイツ、ベルリン自由大学客員教授
- 1995-2016 東京大学社会科学研究所教授 (2009-12年は所長)
- 1998- みずほアジア人材育成基金運営委員 (2010年より委員長)
- 1999- 日本タイ学会理事(2008-11 会長)
- 2001- 大平正芳記念財団運営・選定委員会委員 (2016年より委員長)
- 2012 メキシコ、エルコレヒオデメヒコ大学院大学客員教授(5-6月)
- 2012-13 フランス、Collegium de Lyon (リヨン先端科学研究院)客員研究員(9-2月)
- 2016- 学習院大学国際社会科学部教授、初代学部長 (2018年まで)
東京大学名誉教授
日本貿易振興機構アジア経済研究所名誉研究員

主な受賞歴

- 1985 第6回発展途上国研究奨励賞(「タイ系企業集団の資本蓄積構造—製造業グループを中心として」(『アジア経済』25巻10号))
- 1990 第6回大平正芳記念賞、第33回日経経済図書文化賞(*Capital Accumulation in Thailand 1855-1985*)
- 2001 第13回アジア・太平洋賞大賞(『キャッチアップ型工業化論—アジア経済の軌跡と展望』)
- 2005 第20回大同生命地域研究奨励賞(「東南アジア、特にタイを中心とする経済研究および地域研究」に対して)
- 2007 第2回檉山純三賞(『ファミリービジネス論—後発工業化の担い手』)
第1回 Family Business Award 学術優秀賞 (星野妙子氏と共同)(『ファミリービジネスのトップマネジメント—アジアとラテンアメリカにおける企業経営』)
- 2010 紫綬褒章 (「東南アジア地域研究」の功績により)

主な著作

Capital Accumulation in Thailand 1855-1985, ユネスコ東アジア文化研究センター, 1989.

『タイー開発と民主主義』岩波新書, 1993.

『キャッチアップ型工業化論ーアジア経済の軌跡と展望』名古屋大学出版会, 2000.

『タイの経済政策ー制度・組織・アクター』(共編著)日本貿易振興機構アジア経済研究所, 2000.

『ファミリービジネスのトップマネジメントーアジアとラテンアメリカにおける企業経営』(共編著)岩波書店, 2006.

『ファミリービジネス論ー後発工業化の担い手』名古屋大学出版会, 2006.

Catch-up Industrialization: The Trajectory and Prospects of East Asian Economies, シンガポール国立大学出版会, 2008.

『タイー中進国の模索』岩波新書, 2009.

『東アジア福祉システムの展望ー7カ国・地域の企業福祉と社会保障制度』(編著)ミネルヴァ書房, 2010.

The Oxford Handbook of Business Groups (共著), オックスフォード大学出版局, 2010.

『新興アジア経済論ーキャッチアップを超えて』岩波書店, 2014.

『東アジアの社会大変動ー人口センサスが語る世界』(共編著)名古屋大学出版会, 2017.

第29回福岡アジア文化賞

芸術・文化賞

ティージャン・バーイー

インド

パンダワーニー奏者

1956年8月8日生 (61歳)

経歴

- 1956 インド、チャットティースガル州ドゥルガ県アターリー村（パートン）生まれ
ガニヤーリー村で育つ
- 1968 12歳で結婚(一度も夫の家を訪れることのないまま離婚)
母方の祖父からパンダワーニーの伝統を学び、後にウメイド・スィン・デシュムックから
パンダワーニーの非公式の教えを請う
- 1969 隣村チャンドクリー村(ドゥルガ)にて初めて公の場でパフォーマンス。女性として初めて
パンダワーニー形式で歌を披露。評判となり数々の公演に招待される
- 1970 女性がパンダワーニーを歌っているという理由で集落から追放
- 1982 ボーパールの先住民民俗芸術委員主催公演
インディラ・ガンディー首相(当時)の前で歌を披露
- 1985-86 インド文化大使としてポーランドのインド祭りで公演、以後フランス、ドイツ、英国等
世界各国で公演
- 1986- ビライ製鋼所勤務
- 2001- 自身の楽団を設立。公演および後進の指導
- 2003 グル ガーシダース大学 (ビラスプル)、ライプル大学、ジャバルプル大学から名誉文学博
士号

主な受賞歴

- 1988 インド国勲章パドマ・シュリー章
- 1996 サンギート・ナータク・アカデミー賞
- 1998 デヴィ・アヒリヤー賞
- 1999 イスリー賞
- 2003 Aditya Vikaram Birla Kala Shikhar Sammaan 賞
インド国勲章パドマ・ブーシャン章
- 2008 チャンドラシェーカレンドラ・サラスヴァティー国家栄誉賞
- 2012 リムカ・ブック・オブ・レコーズ(インド版ギネスブック)の「2012 今年の顔」として10人の
インド人マエストロの一人に選出
- 2013 ラジオの第一勲章
アルバス・ヌディスイリー世界遺産賞
チャットティースガル名誉賞
- 2014 9人の女性の宝石賞
- 2015 H.L. ナーゲガウラー国民賞
- 2016 M.S. スップラクシュミー(生誕百周年)賞国民賞

主な公演

- 2010 国際女性の日コンサート(インド)
- 2011 Teejan Bai: The Pandavani Festival (インド、バドダラ)
東中央鉄道女性福祉協会(ECRWVA)(インド、パトナー)
- 2015 Bharat Bhavan 創立33周年記念(インド、ボパール)
シャハージー・バーラヴ音楽祭(インド、コルカタ)
- 2016 ベンガルール・ポエトリー・フェスティバル(インド、ベンガルール)
- 2017 Meet the Masters Series: Teejan Bai (インド、ニューデリー)

その他、インド伝統音楽・文化青少年普及協会 (SPIC MACAY)によるプログラム等公演多数。
フランス、スイス、ドイツ、英国、イタリア、マルタ、キプロス、トルコ、イエメン、バングラデシュ、
モーリシャス等、海外公演多数。

2018年(第29回)福岡アジア文化賞 公式行事一覧

2018年(第29回)福岡アジア文化賞授賞式

- 2018年9月20日(木)／18:30～20:00
- アクロス福岡 1階 福岡シンフォニーホール

祝賀会(受賞者の栄誉を讃える祝典)

- 2018年9月20日(木)／20:20～21:30
- アクロス福岡地下2F イベントホール

学校訪問(受賞者から次世代を担う青少年へメッセージ発信)

- 2018年9月21日(金)
- 福岡市内の学校

市民フォーラム(受賞者による講演ほか)

大賞受賞者:賈樟柯(ジャ・ジャンクー)氏によるフォーラム

「賈樟柯(ジャ・ジャンクー)の映画の原点:中国の"いま"を撮る」

- 2018年9月19日(水)／18:30～21:30
- ユナイテッド・シネマキャナルシティ13

学術研究賞受賞者:末廣 昭氏によるフォーラム

「私のアジア経済論 40年:キャッチアップ型工業化論からデジタル経済論へ」

- 2018年9月22日(土)／11:00～13:00
- 福岡市科学館 6F サイエンスホール

芸術・文化賞受賞者:ティージャン・パーイー氏によるフォーラム

「パンダワーニーの世界:インド古代叙事詩の歌語り」

- 2018年9月22日(土)／16:00～18:00
- 福岡市科学館 6F サイエンスホール